

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

- ここに示した内容は、商品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人々や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

■警告、注意について

- △警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。
△注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。
*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

■記号の例

- !** ●記号は強制（必ず守ること）を示します。
(左図は“必ず守る”)
🚫 ○記号は禁止（してはいけないこと）を示します。
(左図は“禁止”)

△警告

検温結果の自己診断や治療は危険です。

医師の指導に従ってください。
自己診断は、病気が悪化する原因になります。

- !** 乳幼児の手の届かないところに保管してください。
また、お子様だけでのご使用はさけてください。
自分で無理に測ろうとしてけがをする原因になります。

! 電池やネジは乳幼児の手の届かないところに置いてください。
乳幼児が電池やネジを飲み込む恐れがあります。飲み込んだときは、すぐ医師の治療を受けてください。

- 🚫** 本商品はわきや口中用の体温計です。
それ以外（耳など）で検温しないでください。
正しい検温ができません。耳などを傷つける原因になります。

- 🚫** 本体が水などでぬれた状態で測定しないでください。
正しい検温ができません。病気が悪化する原因になります。

△注意

電池の $\oplus\ominus$ 極を正しく入れてください。
発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。

- !** 指定の電池を使ってください。
発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。

- 🚫** 本体を噛まないでください。
事故や故障の原因になります。

- 🚫** 複数の人で併用しないでください。
病原菌の感染する原因になります。

- 🚫** 電池を加熱したり、火の中に入れたりしないでください。
破裂などにより、けがの原因になります。

- 🚫** 強い静電気や電磁波のある場所で使用しないでください。
検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

- 🚫** 分解や修理、改造をしないでください。
検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

正しく測るために

正しい方法で体温を測らなかった場合、必ずしも測定精度が保証されない可能性があります。

わきで測る場合

・わきの中心にあてる



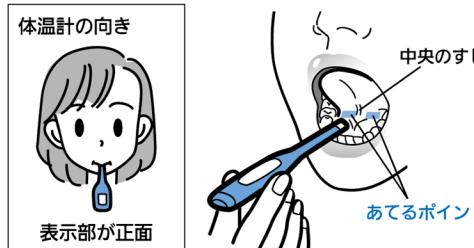
・下から少し押し上げるようにはさむ (わきをしめる)



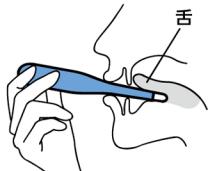
※乳幼児のお子様は、わきが浮かないように腕を軽く押さえてください。

口の中で測る場合

・舌下のつけ根の左右どちらかにあてる



・舌で押さえて口を閉じる



・体温計がずれないように手で支える



体温の測りかた（検温）

1 体温計の電源を入れる



表示部が全点灯

前回測った体温が表示される
(前回値表示)



前回値であることを示すマーク

2 「°C」が点滅したら、感温部をわきの中央にあて、わきをしめる

※口中で検温するときは、舌下のつけ根にあててください。



「°C」が点滅すれば 検温が開始され、「°C」が点滅



【ご注意】外気温（周囲環境温度）が32°Cを超えると、感温部が温まり、温度を表示する場合があります。この場合は、感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。

3 温度上昇がほとんどなくなると、「ピピピピ」とブザーが3回鳴るので、検温結果を確認する

温度上昇がほとんどなくなると、「°C」が点灯に変わる



より正確に測るための時間の目安
わき：約10分 口中：約5分

4 電源を切って、収納ケースに入れる

約30分後（測定していないときは約3分後）に電源が切れますが、電池の消耗を防ぐため、電源は切ってください。

故障かな？と思ったら…

■検温値がばらつく

ここを確認する	処置のしかた
検温するたびに、体温計の感温部のあたっているところが変わっていますか。	「正しく測るために」を確認してください。

■思ったより検温値が低いと思ったとき

ここを確認する	処置のしかた
体温計を正しくあてていますか。	「正しく測るために」を確認してください。
汗をかいていませんか。	汗をふいてから、もう一度測り直してください。
お知らせブザーが鳴るときの温度について	ブザーの鳴る温度は温度上昇のしかたによって変わります。 「検温のしくみ」を確認してください。
予測式体温計で測った場合と比べていますか。	この体温計は予測式体温計ではなく、実測式体温計です。 実測式体温計の場合、ブザーが鳴ったときの温度はほぼ平衡温に達していますが、まだ少し温度上昇します。 より正しい体温を測るには、10分間測定してください。

■電源スイッチを押しても表示部に何も表示しない

ここを確認する	処置のしかた
電池の $\oplus\ominus$ の向きが間違っていますか。	電池を正しく入れ直してください。
・電池が消耗していませんか。 ・表示部に「」が表示されていますか。	新しい電池（LR41）と交換してください。

■検温準備中に「37.0°C」が出ない

「36.9°C」～「37.1°C」が表示される場合は、そのままご使用いただけます。ただし電源を入れ直して何度も「36.9°C」～「37.1°C」以外が表示される場合は、オムロンお客様サービスセンターへお問い合わせください。

検温値以外の表示（エラー表示）

表示	エラー表示の原因	処置のしかた
L	感温部の温度が32°C未満のときに表示されます。	エラーではありませんので、そのまま検温を続けてください。
H	感温部の温度が42°Cを超えるときに表示されます。	外気温が42°Cを超える可能性があります。感温部を冷やしてからお問い合わせください。

末永くご使用いただくためのお願い

故障の原因になりますので、下記の注意をお守りください。

- 人の検温以外には使用しないでください。
- 本体や収納ケースに強いショックを与えたとき、落としたとき、踏んだり、振動を与えたときに表示部が変化する場合があります。
- 水気が付いたままケース内に収納しないでください。必ず、乾いた布でふき取ってください。